



# ANNUAL REPORT 2023

活動報告書

2023.4-2024.3



## もくじ

ご挨拶 .....	P.3
2023 年度のトピック .....	P.4-5
会計のご報告 .....	P.6-7
寄付のご報告 .....	P.9-12
ピティナの活動について .....	P.13
事業のご報告 .....	P.14-21
ご支援のお願い .....	P.22-23



## ご挨拶

会費や寄付によるピティナへのご支援をいただき、誠にありがとうございます。お陰様で2023年度も黒字経営となり、ピアノ教育・音楽文化の振興を継続できます。本報告書は、皆様からお預かりしている資金をどのように活用し、どのような価値を生んでいるのかを報告するものです。

ピティナの大きな特徴は資金を託す人とその資金を預かって事業活動をする人が二分されているのではなく、会費を払う会員が自ら事業活動に参画することにあると考えています。これが実現できているのは、会員一人ひとりが深い音楽愛をお持ちであるとともに、会員相互が力を合わせて貢献している実感を得ているからだと思います。ご寄付をしてくださる方々の志が事業目的にストレートに反映されていることをご確認いただき、誇りと遣り甲斐を感じていただきたいと願っています。

近年、審査員やアドバイザーの旅費交通費をはじめ、運搬費や様々な資材の価格が高騰しています。ピティナのミッションは「音楽がつける豊かな人生」ですから、あらゆる経営努力をして人と人が触れ合うための費用を捻出するとともに、オンライン上での人の繋がりも作って参ります。

どうぞ引き続きお力添えのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 専務理事

福田成康





# 2023年度のトピック

## 立石文雄氏（オムロン株式会社 名誉顧問）が新会長に就任

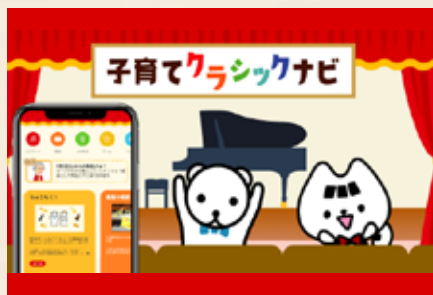
このたび会長を拝命いたしました立石文雄です。

創立 57 年、全都道府県に 17,000 人の会員と 650 の拠点を有するピティナの、歴史の重みと組織の大きさを実感しております。

大学時代には、「慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団」に所属していました。充実した演奏活動の記憶が、今も鮮明に蘇ります。自分の力で音楽を奏で、聴く人に感動を与える活動は、どれだけAIが活躍しても、人間にだけ与えられた特権です。その貴重な場面を、ピティナでは数多く取り揃えております。「音楽がつなげる豊かな人生」というピティナのビジョンは、これからの時代にますます重要なテーマになるでしょう。一期一会の演奏の機会に向けて、諦めずに挑戦し、自身の進化を確認しながら前に進むこと。ピアノの演奏を通じて得られるこれらの経験は、企業における企業理念にも通じる、根源的な営みです。

コロナ禍においても、会員と関係者の皆様のためまぬ努力で築いてこられた、音楽教育への様々な取り組みを、さらに発展させるべく、努めてまいります。

今後とも、ピティナの活動にますますのご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



## ソニー音楽財団との業務提携開始

ソニー音楽財団の無料モバイルアプリ『子育てクラシックナビ』にて、公益財団法人ソニー音楽財団と業務提携し、アプリ内でピアノ関連を中心としたピティナの子ども向けクラシック音楽コンテンツの公開を開始しました。『子育てクラシックナビ』は、親子がクラシック音楽の情報に気軽にアクセスし楽しめることを目的として制作されています。アプリの「動画」および「よみもの」機能にて、ピティナ独自のコンテンツを追加・公開していきます。

2023年3月末時点で、「よみもの」「クラフト」44コンテンツを提供しています。

## 会計バンクとの業務提携開始

フリーランス・個人事業主向けスマホアプリ「スマホ会計 FinFin」「スマホインボイス FinFin」を運営する会計バンク株式会社（以下「会計バンク」と）業務提携いたしました。ピアノ指導者の会計業務における課題に対して、共同で取り組みを行いピアノ指導者を応援することが目的です。

主な取り組み内容は下記の通りです。

- ピティナ会員を対象とした、会計業務やインボイス制度に関する知識向上のための説明会・勉強会・セミナー等の開催・運営
- ピティナ会員向けに、会計バンクが提供する FinFin サービス（スマホ会計 FinFin、スマホインボイス FinFin、等）の紹介、推奨
- ピアノ指導者に特化した「ピアノ指導者向け FinFin サービス（仮称）」の企画検討



## コンペ課題曲説明会は5年ぶりホール開催

コンペの開幕の意味合いもある、毎年恒例のコンペ課題曲説明会は、コロナ感染症の流行により、オンラインのみで実施していましたが、2024年3月1日、2日は、ベルサール虎ノ門で実施。5年ぶりのホールでの開催となりました。ソロ部門の課題曲説明会終了後には、同会場にて懇親パーティも行い、102名の方がご参加。3月1日、2日合わせて278名の方がご来場されました。

オンラインでの交流が広がる中、「対面」という価値が高まっています。自宅から会場まで足を運び、そこに参加する時間を割いていただく、それに見合った価値を今度どのように提供できるか、課題曲説明会に限らず、考えて参ります。



## 能登半島地震で被災した 2ステーションへの援助



2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では、穴水ラベンダーステーション、ならびに、のと七尾ステーションが被災し、ステップ開催の見込みが立たない苦境に立たされています。ピティナは音楽を通じて助け合う組織です。今後のステーション活動資金として、ピティナ会員、支部、ステーションを中心とする皆様から広くご寄付を集めることといたしました。2月から義援金を募り、3月末時点で、186件 4,433,064円の義援金を頂戴し、2回に渡って、2ステーションにお届けいたしました。ステップの再開は今すぐには難しいかもしれませんが、多くの方々が音楽に触れ、ともに学ぶ拠点を残したいと願っております。

## 2023年度特級グランプリ

ピティナ・ピアノコンペティションの最上位に位置する「特級」のグランプリ受賞者には、ピティナの顔として様々な社会活動への参加も企画します。2023年度は、A2級から特級までの全級に参加されてきた鈴木愛美さんです。鈴木さんも歴代のグランプリ受賞者と同じく、単独取材やインタビュー、表敬訪問、各地での入賞者記念コンサートへの参加などを行っていただきました。ピティナの顔＝わたくしたちの顔でもあります。会員のみなさまには、ぜひ、今後も毎年の特級グランプリの活躍を見守り、応援いただければ幸いです。



詳細はこちら



# I会計のご報告

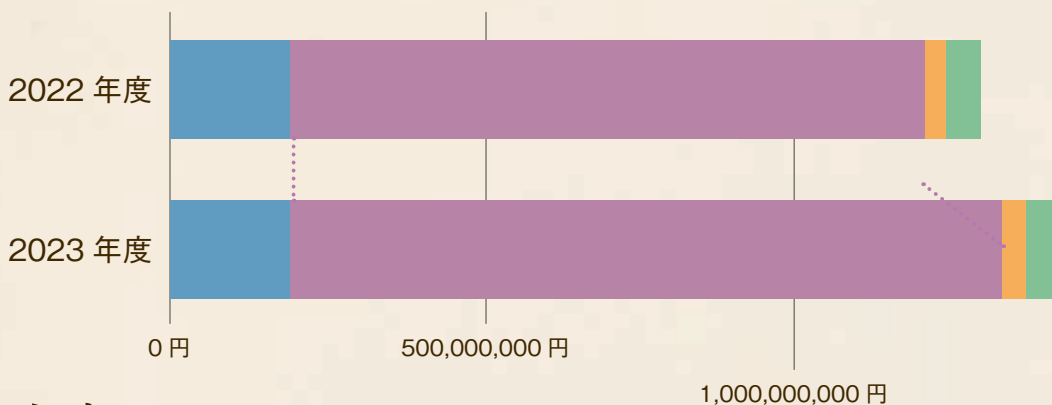
## 収入

1,416,491,481 円

提携コンクール事業やeラーニング登録者数の伸び、ステップ参加料の値上げにより事業収入が5,800万円ほど昨年よりプラスとなりました。少子化が急加速している中、コンクールやステップの子どもの級の参加者は今後ますます参加数が厳しくなることが予想されます。大人のピアノ学習者向け、また、コンクールやステップに参加していない生徒をターゲットとしたサービスの開発に今後は注力する必要があります。新たな事業についても鋭意開発中です。

会費・入会費	153,170,000 円
事業収益	1,187,627,695 円
寄付金	7,641,164 円
雑収入・運用益	41,650,454 円
有価証券評価益	26,402,168 円
合計	1,416,491,481 円

■会費・入会費 ■事業収入 ■寄付金 ■雑収入・運用益等 ※経常収益のみ取り出して昨年度と比較しております。



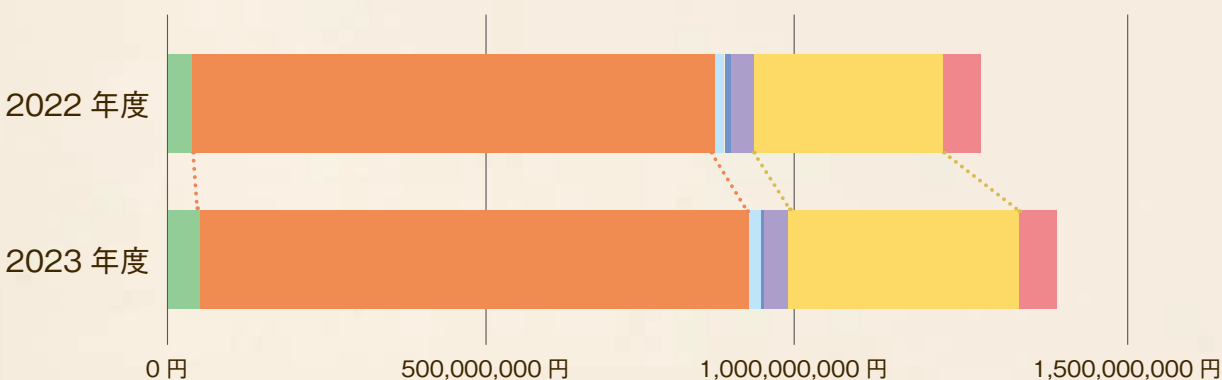
## 支出

1,349,816,145 円

収支としては良い数字なのですが、運用益や福利厚生の一部を解約したことによる収入増が主となっています。紙1枚の値段から郵送費まで様々な物の値段が上がり、できるだけITを駆使し、必要なものに出費を注力する必要があります。参加票等のメール送信はその一環です。アドバイザーや審査員を様々な地域に派遣し、交流を行っていただくことを目的にはしておりますが、交通・宿泊費の高騰により、旅費交通費が昨年より3,000万円支出が多くなっております。また、最低賃金の値上がりや雇用保険の値上がりもあり、人件費も上がっております。収益をあげ、かつ成長するためにどこに資金を投入するかは一層シビアな課題となりそうです。

研修:セミナー・eラーニング・入賞者記念コンサート・トークコンサート等	47,186,818 円
検定コンペ:コンペティション・ステップ・指導者ライセンス・提携コンクール等	841,387,207 円
出版:ムジカノーヴァ・アナリーゼ楽譜・ミュッセ等	15,865,823 円
その他収益事業	130,240 円
調査研究費:教室紹介・ピアノ曲事典・調査研究等	9,193,455 円
公益事業:学校クラスコンサート、寄付広報等	1,542,426 円
会員:会報・組織運営等	35,809,684 円
音楽教育研究所	5,877,310 円
共通経費(人件費等)	317,692,081 円
管理費	75,131,101 円
法人税・住民税・事業税	70,000 円
経常外費用	1 円
合計	1,349,886,146 円

■研修 ■検定・コンペ ■出版 ■調査研究費 ■会員 ■共通経費(人件費等) ■管理費 ※経常費用のみ取り出して昨年度と比較しております。



# 貸借対照表要旨

単位：円

		科目	当年度金額
資産の部	1. 流動資産	現金預金	458,638,448
		有価証券	468,145,822
		未収金・その他	37,611,272
	2. 固定資産	基本財産	100,000,000
		特定資産	40,129,933
その他固定資産		47,612,296	
資産合計			1,152,137,771
負債の部	流動負債	前受金	201,036,870
		未払金・その他	95,418,870
	負債合計		296,455,740
正味財産の部	1. 指定正味財産	受取寄付金	10,000,000
		(うち基本財産への充当)	10,000,000
		(うち特定資産への充当)	0
	2. 一般正味財産	一般正味財産	845,682,031
		(うち基本財産への充当)	90,000,000
		(うち特定資産への充当)	40,129,933
正味財産合計			855,682,031
負債および正味財産合計			1,152,137,771

# 正味財産増減計算書要旨

単位：円

I：一般正味財産増減の部				
経常増減の部	1. 経常収益	会費・入会費	153,170,000	
		事業収益	1,187,627,695	
		寄付金	7,641,164	
		雑収入・運用益	41,650,454	
	経常収益計		1,390,089,313	①
	2. 経常費用	事業費（直接経費）	研修	47,186,818
			検定コンペ	841,387,207
			出版	15,865,823
			その他収益事業	130,240
			調査研究費	9,193,455
			公益事業	1,542,426
			会員	35,809,684
			音楽研究所	5,877,310
共通経費（人件費等）		317,692,081		
管理費		75,131,101		
経常費用計		1,349,816,145	②	
有価証券評価損益		26,402,168	③	
当期経常増減額（①－②＋③）		66,675,336	④	
経常外増減の部	1. 経常外収益	0	⑤	
	2. 経常外費用	1	⑥	
	当期経常外増減額（⑤－⑥）	-1	⑦	
法人税・住民税・事業税		70,000	⑧	
当期一般正味財産増減額（④＋⑦－⑧）		66,605,335	⑨	
一般正味財産期初残高		779,076,696	⑩	
一般正味財産期末残高（⑨＋⑩）		845,682,031	⑪	
II：指定正味財産増減の部				
基本運用益		13,163	⑫	
受取寄付金		0	⑬	
一般正味財産への振替		13,163	⑭	
当期指定正味財産増減額（⑫＋⑬－⑭）		0	⑮	
指定正味財産期初残高		10,000,000	⑯	
指定正味財産期末残高（⑮＋⑯）		10,000,000	⑰	
正味財産期末残高（⑪＋⑰）		855,682,031		

※ 2024年5月時点：2024年6月の総会にて承認をいただきます。お手元に届いた時点では仮の状態です。  
正式決定後、ピティナウェブページに掲載されます。

# 寄付のご報告



寄付者一覧

支援総額:7,914,046 円 / 支援件数:845 件

2023 年度も 845 件、合計 7,914,046 円にもぼるご寄付を賜りまして、誠にありがとうございます。

ピティナへのご寄付には大きく2つあります。

1つは「特級クラウドファンディング」。未来のピアニストへの応援のご寄付で、主にサポーター賞の賞金に充てさせていただいております。サポーター賞を上回るご寄付につきましては、各地への特級受賞者の派遣費用に充てさせていただいております。春または夏の指導者賞を受賞された方は、会費に賞金 10,000 円を充てることもできますが、「特級クラウドファンディング」や「特級の各地への派遣費用」にもご寄付いただけます。

もう1つは、各事業へのご寄付です。事業が多岐に渡っているため今後はもう少し絞ってのご寄付を検討しておりますが、中でも会員サービスである「ピアノ教室紹介」へのご寄付が多く、マッチング成立のお礼にと、保護者の方・ピアノ指導者双方からご寄付を頂戴しております。10 名のスタッフが教室紹介をサポートしていますが、丁寧な対応に対する御礼のお気持ちをお寄せいただいているようで、今後も引き続き、会員の皆様のサポートに尽力できればと考えております。続いて、ピアノ曲事典も利用者、執筆者、演奏者からご寄付を頂戴しております。教室紹介よりも公益の意味合いが強く、今後も事業収益の投入をしつつ、多くの方に利用されるサービスであり続けるため、さらなる曲や執筆の追加を行って参ります。

## 支援先事業内訳

支援先事業	金額	件数
2023 年特級クラウドファンディング	5,104,000 円	394
ピアノ教室紹介	1,582,450 円	336
一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（事業指定なし）	678,000 円	68
ピアノ曲事典	232,000 円	21
ピアノコンペティション特級	130,080 円	14
公益財団法人福田靖子賞基金	104,016 円	3
ピアノステップ	35,000 円	3
ピアノコンペティション	30,500 円	3
調査・研究	13,000 円	2
セミナー	5,000 円	1
合計	7,914,046 円	845

## 能登の義援金について

2024 年1月1日に起こった令和 6 年能登半島地震にて、「穴水ラベンダーステーション」「のと七尾ステーション」の2つのステーションが被災。3月31日時点までで、3,388,304 円が集まり、ピティナからもマッチングで 944,760 円を寄付、総額は 4,333,064 円になりました。3月末までに2回に分けて、2,166,532 円をそれぞれのステーションに送りました。寄付者には、ステーションの名前も多々あり、「音楽」を通して、助け合う姿が見られ、改めてピティナという全国組織でできることを感じました。

今後も、「つながり」を通して、いただいた支援をもって貢献できるように、邁進して参ります。

使途	金額
令和 6 年能登半島地震災害義援金（183 件）	3,388,304 円
ピティナ マッチング寄付	944,760 円
合計	4,333,064 円

※ 2 ステーションにそれぞれ 2,166,532 円を送金

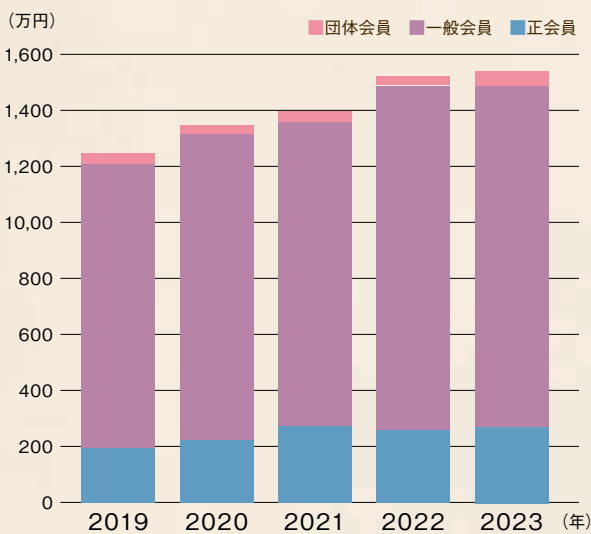


# 会費のご報告

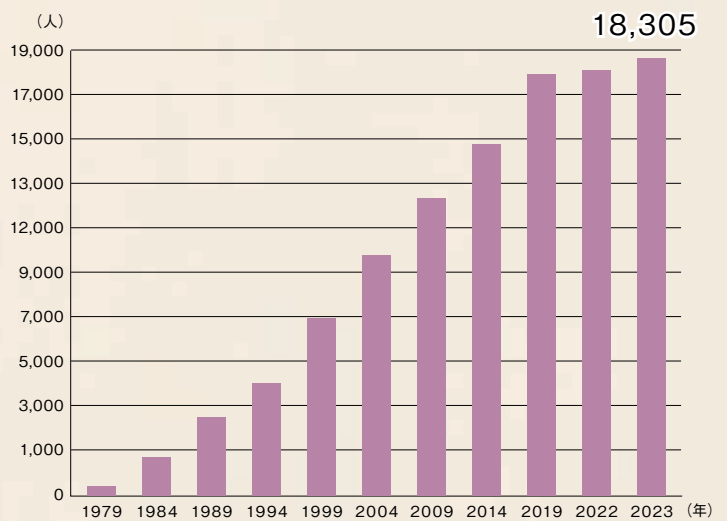
会費総額 153,170,000 円 会員数 18,305 名 (新規会員数: 1,373 名)

「音楽つなげる豊かな人生」をビジョンに掲げている私共の活動にご賛同いただき、誠にありがとうございます。会費は、私共への寄付ととらえております。お一人おひとりの日頃のレッスンがコンペティション、ステップ、提携コンクールなどの事業につながり、加えて、支部・ステーションの活動や勉強会の実施、アドバイザーやご審査、講師、委員会などにお力添えいただき、それがまた指導者やピアノ学習者に還元され、日々のレッスンにつながります。ピティナという組織を形作るのは、会員の皆様お一人おひとりなのです。今後も、お力添えいただけますと幸いです。

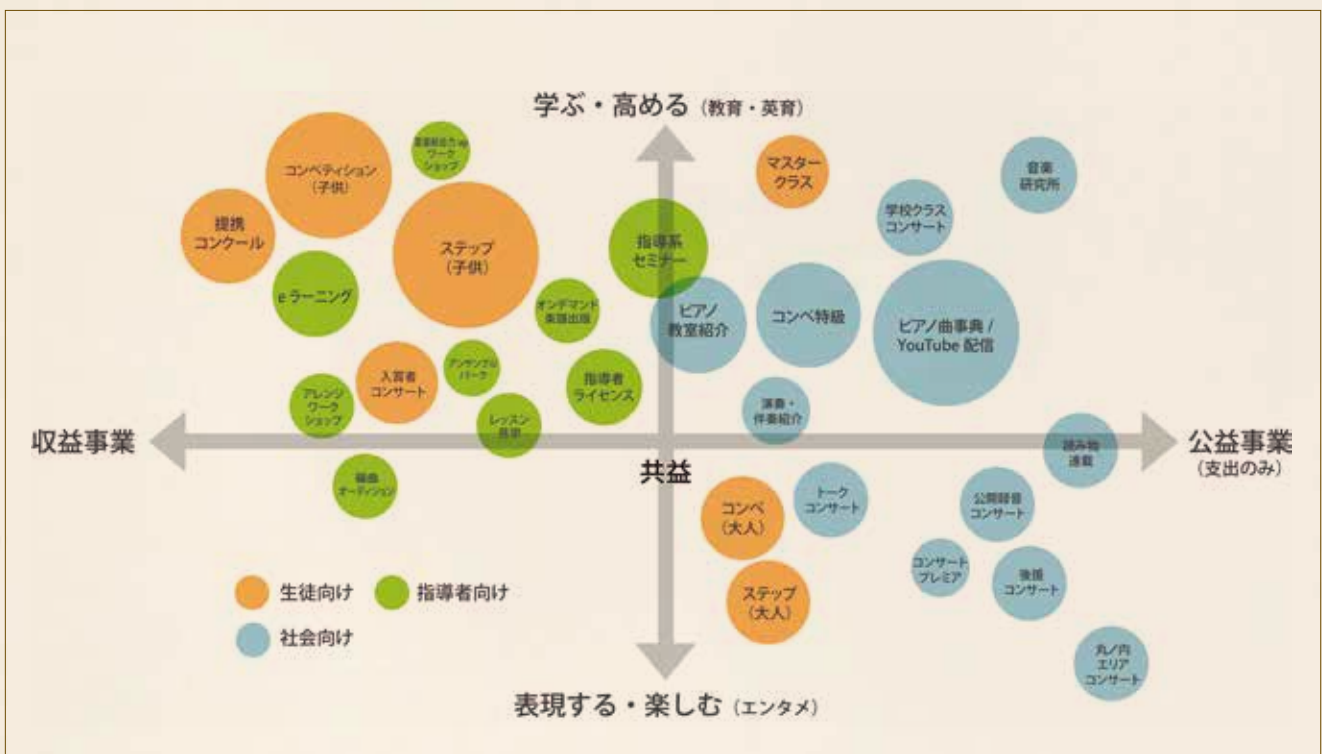
会費収入推移



会員数推移



## 事業マップ



既存の事業のポジショニングと事業規模を整理したマップです。主に左上の象限の収益(コンペティション・ステップなど)と会費の活用により、青色の公益性の高い事業が発展してきました。今後は、さらに右側の公益事業の発展を目指し、事業収益と会費だけでなく、企業協賛・助成金・寄付などの資金調達にも力を入れてまいります。

# 特級クラウドファンディング

支援総額：5,104,000 円／支援件数：394 件／達成率：170%

「循環」を1つのキーワードとして行ってきた特級クラウドファンディングですが、応援されたピアニストが今度はピアノ学習者へとバトンをつないでいきます。特級ファイナルを会場で演奏を聴いたというピアノ学習者はほんの一握りではないでしょうか。各地で行われた入賞者記念コンサートでのゲスト出演では、いただいた資金を活用し、特級受賞者を各地に派遣しています。受賞者は生の音をピアノ指導者に届けるだけでなく、子どもたちと交流し、その地域にピアノに対する情熱も届けます。その気持ちを受け取ったピアノ学習者は、ピアニストにはならないかもしれませんが、きっと人生の心に刻まれる1ページになることでしょう。こうして、皆様の支援を通じ、新たな循環ができることに心より御礼申し上げます。



## 各地での入賞者の活躍

全国のコンペティションを開催する支部では、地域の子どもたちが次のコンペティションへモチベーションを高められるようにと、前回の入賞者たちのお披露目をする入賞者記念コンサートを開催しています。そこへ特級入賞者たちが先輩ピアニストとして招聘されます。2024年3月までに鈴木愛美さんを中心に特級入賞者たちが全15地区で演奏し、地域の子どもたちと交流することができました。

今後は、全国各地で開催される学校クラスコンサートや海外でのマスタークラスへの派遣を予定しています。皆様からの温かいご支援に改めて御礼申し上げます。

各公演のレポートは、クラウドファンディングの活動報告をご覧ください。



アップデート  
ブログ

## サポーター賞

クラウドファンディングで新設した「サポーター賞」では、二次予選からファイナルまでの間、1日1票、二次予選進出者に投票できる仕組みを設けました。演奏はもちろんのこと、それぞれのピアノと向き合ってきた人生や特級挑戦までのストーリー、キャラクターなども踏まえ、どなたでも「応援したい奏者」に投票ができる制度です。

最終日までのにべ 5320 票もの投票のご参加があり、結果は右記のようになりました。

順位	演奏者
1	塩崎 基央
2	小野寺 拓真
3	鈴木 愛美
4	嘉屋 翔太
5	小野田 有紗
6	平間 今日志郎
7	神原 雅治

## 資金活用のご報告

用途	金額
目標金額分の用途	
サポーター賞賞金	1,150,000 円
ライブ配信補助費	748,934 円
クラウドファンディング手数料	954,448 円
国内・海外活動サポート費	2,250,618 円
リターン製作費	79,245 円
活動支援の用途	
クリスタル Piano コンクール入賞者記念コンサート交通・宿泊費(派遣人数:1名)	26,039 円
岡山支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	46,639 円
T-shot シリーズ/佐川文庫シリーズ 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	10,500 円
熊本ドリーム・プロジェクト 交通費(派遣人数:1名)	31,540 円
ごぼうピクラシック ピアノオールスターズII 宿泊費(派遣人数:1名)	9,980 円
学校クラスコンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	30,905 円
宝塚支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	28,468 円
特級入賞者スペシャルコンサート 交通費・宿泊費(派遣人数:4名)	33,235 円
諏訪支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	12,116 円
沖縄支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	73,135 円
IMA コン서트 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	23,458 円
岡崎支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	22,178 円
ベーゼンドルファー褒賞リサイタル 交通費(派遣人数:1名)	356 円
すばるホール褒賞公演 交通・宿泊費(派遣人数:2名)	28,572 円
高知支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	56,156 円
松山支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	31,000 円
静岡支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	12,628 円
甲子園支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	31,000 円
名古屋栄支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	21,812 円
IHI 地域コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	16,306 円
特級ガラコンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	34,430 円
金沢西支部/福井支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:2名)	21,870 円
鳥取県支部入賞者記念コンサート 交通・宿泊費(派遣人数:1名)	39,922 円
<b>残高 (2024年5月17日時点)</b>	<b>1,678,167円</b>

残高は、引き続き下記のような機会での活用の他、これまでの特級入賞者や 2024 年度以降の入賞者の活動支援に充たさせていただきます。

残高活用予定のイベント	予算
5月鈴木愛美三木楽器リサイタル(派遣人数:1名)	30,000 円
7月カワイ表参道コンサートパウゼ(派遣人数:3名)	56,000 円
7月ポーランドナウンチェフ音楽祭(派遣人数:1名)	21,1000 円
8月関西フィル東大阪特別演奏会(派遣人数:1名)	41,000 円

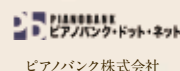
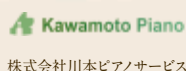
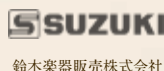
※国際情勢によって上記講演への入賞者派遣が実現できない場合がございます



# 団体会員

団体会員としてピティナの活動を支えてくださっている団体の皆様に、心より御礼申し上げます。2023年度は、新しく6社／団体がご入会くださいました。

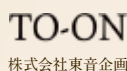
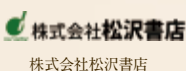
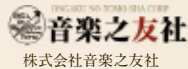
## ■楽器



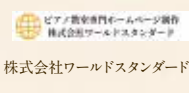
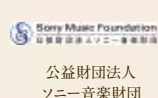
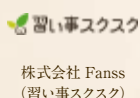
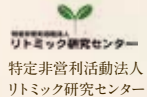
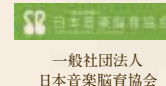
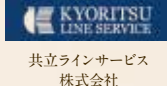
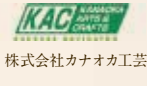
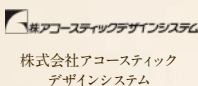
## ■音楽大学



## ■楽譜



## ■企業・音楽団体・その他





# ピティナの活動について

2022年度に、会員の皆様とともにビジョン・ミッションを策定し、組織の目指すべき方向を明確にしました。(P.21)

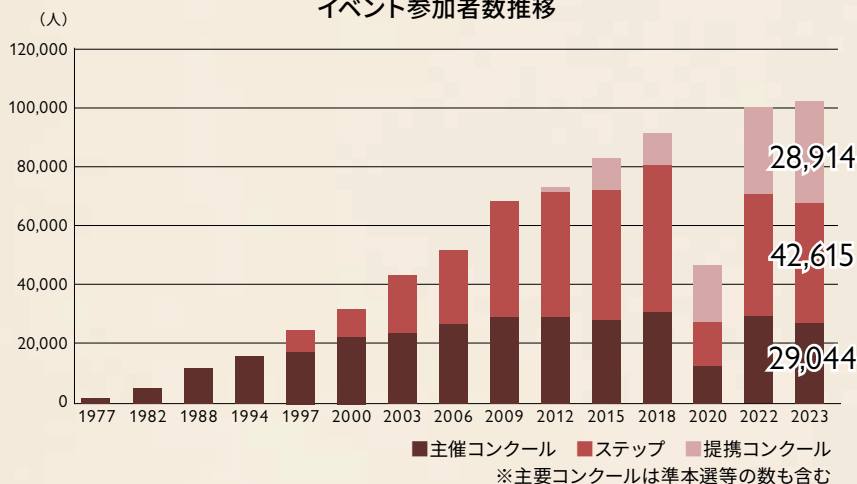


こういったビジョン・ミッションの策定も含め、長年の組織運営と継続的な改善が評価され、2023年5月には、「エクセレントNPO大賞」の大賞および組織力賞を受賞、さらに2023年6月には「グッドガバナンス認証」を取得しました。

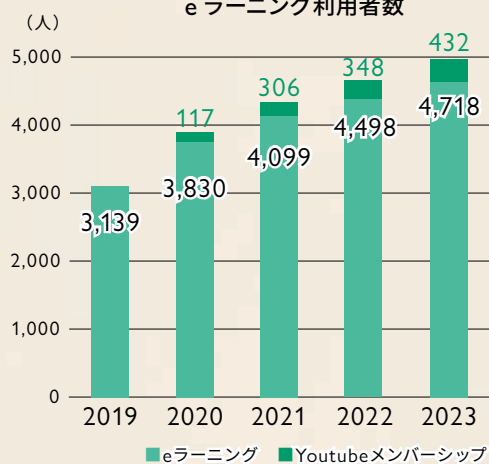
この後のページで事業のご報告をいたしますが、それらの事業はミッションがかたちになったものです。たとえば、「指導者が共に学び続ける場をつくる」というミッションのために、コンペティションやステップ、提携コンクールという「ステージ」を用意し、ピアノ指導者が生徒の演奏を通じて学ぶ場が設けられています。お陰様で、年を経るごとに多くの参加者や指導者にご活用いただいています。上記3つの事業については「ステージ事業」と銘打っても良いかもしれません。

もちろん、セミナー事業や指導者ライセンス事業も学び続けるピアノ指導者を応援するために何ができるかということは日々考え、業務に取り組んでおり、昨今ではeラーニングを会費と一緒に申込ができるようにし、コンスタントにコンテンツがアップされるようにし、多様な学びができるようにした結果が登録者数増につながっていると感じております。

イベント参加者数推移



eラーニング利用者数



「未来を拓く人をそだてる」というミッションは、「特級」ももちろんですが、「Enjoy!Piano」という連載記事では、様々なジャンルで活躍されている方々の、ピアノとご自身とのつながりにスポットライトを当てたインタビュー記事を掲載しています。

ピアノで育つ能力はピアノを演奏する能力だけではありません。目標に向かって努力する力、忍耐力、自分を表現する力など様々で、仕事で活躍するための力がピアノ学習で育っていくことは、ピアノ指導者の皆様が一番よくおわかりではないでしょうか。

「地域コミュニティをつくる」というミッションでは、ステージ事業のほか、学校クラスコンサートをはじめとしたコンサート事業、OpenPianoProject が挙げられます。オンラインの台頭により、移動せずに様々なイベントにご参加できるようになりましたが、やはり地域ごとの特色や課題はあり、それに応じたイベントの開催は必要になります。それぞれの地域のピアノ指導者がその地域の活性化のためにピアノをご活用くださり、それらが集まってピティナという団体になれば、それほど幸せなことはありません。

「時代の変化をとりいれる」というミッションでは、ピアノ曲事典や読み物連載、音楽研究所が挙げられるでしょう。現在、ピアノ曲事典に掲載している曲にIDを持たせ、それらをどの方にもご利用いただけるようにならないかと企画を進めております。このことにより、ステージ事業で演奏された曲ばかりでなく、様々なコンサートや発表会で演奏されたかどうかも把握することができるようになり、どういった曲がどういった場面で演奏されたかなどのビッグデータが生まれます。今後は、AIも絡めた事業開発が必要かと考えております。システムでピアノ業界を牽引してきた自負がございますので、今後も皆様にさすがピティナだね、とおっしゃっていただけるように尽力して参ります。

# 事業のご報告

## コンペティション

指導者数

5,037名

協力審査員数

のべ819名

参加組数

のべ約29,044組

予選～本選地区数  
(全47都道府県)

334地区

「生徒と指導者が共に成長するコンクール」として、各段階のピアノ学習者に、精選された四期（バロック・クラシック・ロマン・近現代）の課題曲を学ぶことによるステージ体験を提供しています。また、その背後でサポートをしているピアノ指導者には、各々の指導カリキュラムの根幹を支える総合的・網羅的な知識・経験の向上の機会を提供しています。



第47回となる2023年度は、5月21日の掛川前期地区予選を皮切りに、予選257地区、本選77地区、全国大会（8月17日～21日）の規模で行われ、前年を上回る29,044人/組（予選）の参加者の皆様、総計5,037名の指導者の皆様にご活用いただきました。特に491名の方が初めて利用していただき、指導者がステージと課題曲を通じて学び続ける場を提供することができました。

また、社会人のピアノ愛好者を対象とした「グランミュージズ部門」に、前年をさらに上回って過去最多を更新する1,454人/組のご参加をいただいたことは、豊かな音楽体験の広がりを実感させる出来事でした。

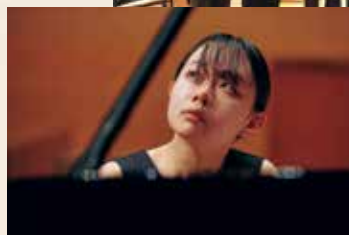
後援：文部科学省、東京都（全国大会）

褒賞協力：株式会社ヒノキ新薬、学校法人東京聖徳学園 聖徳大学、スタインウェイ・ジャパン株式会社

## コンペティション「特級」

ピティナ・ピアノコンペティションの部門のうち、「特級」は専門家を目指す学習者の最上カテゴリーであり、世界レベルのピアニストを輩出してきました。最終選考であるファイナルは、「クラシック音楽の殿堂」サントリーホールで開催され、多くの聴衆の前でコンサート形式で、国内を代表する一流のオーケストラとコンチェルトを演奏します。最近では、日本の若手ピアニストの活躍により多くの音楽ファンが特級に注目しており、才能を育て世界への挑戦を応援する場となっています。

2023年度は、前年を大きく上回る103名の参加を得て、1次予選からファイナル（8月21日：サントリーホール）までが行われ、鈴木愛美さん（当時：東京音楽大学4年生）がグランプリと聴衆賞を受賞しました。



### 入賞者の活躍

2023年も、特級を巣立ったピアニストが数多く活躍しました。当年度グランプリの鈴木愛美さんは、その直後に行われた第92回日本音楽コンクールピアノ部門にも出場し、見事に第1位と聴衆賞を受賞。同年度に特級グランプリと日本音楽コンクールの両方を受賞したのは2019年の亀井聖矢さん以来の快挙です。国際コンクールでも、山崎亮汰さん（2014年特級グランプリ、米コルバーン音楽院留学中）がイタリアの名門ブゾーニ国際ピアノコンクールで第3位に入賞するなど、各地で目覚ましい活躍が見られました。また、角野隼斗さん（2018年グランプリ）や亀井聖矢さん（2019年グランプリ）は、テレビ番組等でも特集され、数多くのメディアに登場し、クラシック音楽の領域を超えた幅広い音楽ファンに愛される存在となりました。

# ステップ

指導者数

5,711名

協力アドバイザー数

のべ757名

※初アドバイザー 30名

参加組数

のべ42,719組

地区数

585地区

※うち新規拠点：19地区

協力支部・ステーション数

490

他人との比較や順位による評価は行わず、一人ひとりの音楽との向き合い方をサポートする、すべてのピアノ学習者・愛好家のための公開ステージです。生涯学習を後押しする仕組みとして、演奏技術の良否ではなく「ピアノを続けること」を表彰する独自の「継続表彰」を設けています。

2023年度は、顧客満足度を問う参加者アンケートを一新し、参加者一人ひとりがステップのステージを通して学習を振り返ることのできる「ふりかえりシート」としました。

また、ステップでは、「アドバイザー」と呼ばれる指導者・演奏家が各地に派遣され、出演者全員の演奏に対してコメントシートを贈る仕組みを設けています。各地の指導者が全国を行き交うこの仕組みが、地域間のピアノ・音楽関係者のつながりを生み出しています。

アドバイザーはコメントを贈るだけでなく、ステップの中で入場無料で開催するコンサート（「トークコンサート」）や参加者のレッスンを実施することもあります。2023年度、トークコンサートは全体の40%以上の248地区で開催されました。

ステップの運営は「ステーション」と呼ばれる、地域のピアノ指導者による独立会計のグループが担っています。ステーションの数は全国で525にものぼります。

参加者、アドバイザー、実施事務局、それぞれがステップを通して地域の音楽活動を盛り上げています。

後援：文部科学省



## トークコンサートの助成について

2022年度に申請した公益財団法人 JKA の「2023年度競輪公益資金による体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に関する補助金」に採択され、2023年度のトークコンサートは「JKA 補助事業 学術・文化の振興のための活動」として実施いたしました。

トークコンサートは2019年度350地区開催でしたが、新型コロナウイルスの影響で2020年度0地区、2021年度30地区、2022年度190地区となり、現在も開催数は完全には戻っておりません。

特に大都市圏以外ではコンサートが少なく、プロの演奏を間近で聴く機会は地域格差が大きい状況があります。コロナ禍で失われたピアニストと地域の交流を再び取り戻す為、2023年度をトークコンサート復活年度と位置づけ、申請を行いました。

補助金はおよそ900万円が入金予定で、その一部を各ステーションに分配し、トークコンサート実施によってステーションにかかる負担を減らす為に活用いたします。



## 提携コンクール



申込総数  
**28,914**件

※新規申込数：7,770件

対象コンクール

**51**種類

※グランミュージズ・サロン12種類

地区数

**353**地区

※うち新規5種類・6地区  
グランミュージズ・サロン新規8種類・  
8地区

ピティナ会員や関係団体が主催するコンクールの申込受付代行サービスを提供し、ピアノ学習者がステージを経験する機会を全国各地で充足させています。参加者はコンペティションやステップに参加した時と同様に「ステージポイント」を得ることができ、ステージ経験を積むモチベーションに繋がっています。また、それぞれのステージの主催者がピティナと提携コンクールをメディアとして活用することで、多様なコンクールの発展をうながしています。



2023年は新たに2つの「連弾コンクール」が加わりました。1つは「KSM 連弾コンクール」。船橋と軽井沢の2カ所で行われ、ケー・エス・ミュージック主宰の佐々木邦雄先生が作曲・編曲・監修した曲が中心です。演奏を会場で収録し、その動画を審査員が視聴する、という新しい審査方法が特徴です。もう1つは「リゾナンツァ連弾コンクール」。「親子で・きょうだいで共鳴する」「友達同士で共鳴する」といったメッセージが込められています。実際に家族、友人など、様々な年齢層のペアからの申込がありました。

また、近年提携コンクールでは「グランミュージズ・サロン」の開催が拡大しています。ピアニストが主催する大人のためのピアノ弾き合い会で、2023年度は12名のピアニストによって開催されました。ピティナが主催するコンペティションやステップだけでなく、個別具体的な目的を持った提携コンクールが加わってピティナのステージ総体を作り上げることで、多様な学習機会が保持され、新たな音楽の繋がりを生み出しています。

## セミナー（セミナー広報支援、eラーニング）



セミナー掲載数

**667**地区

eラーニングコンテンツ制作数

**342**件

登録者数

**5,219**名

※内 YouTube メンバーシップ登録者  
462名

ピアノ指導者の自己研鑽をサポートするために、ピアノ指導・演奏・コンクール課題曲に関する解説講座など、地域のニーズに応じたセミナーの広報支援を行っています。2020年以降、実地での開催に加え、リアルタイムでのオンライン配信形式、セミナーの様子を撮影したものを後日動画配信する形式など、受講者のニーズに合わせて、様々な形式のセミナーが行われるようになってきました。その時間に受講できない、開催場所が遠くて行けないなどの制約がなくなり、どなたでも学びやすい環境が整って参りました。

2023年度は、大学（団体会員主催）で開催されるセミナーの掲載、交流会形式の勉強会の掲載も行いました。今後も、多くの方に多種多様なセミナー情報をお届けできるよう、広報支援を進めて参ります。

eラーニングは、場所だけでなく、時間や回数の制限なく受講できるサブスクリプション型の講座配信サービスです。2023年は受講者から提出されたレポートを講師への共有をスタート。フィードバックシステムも整備し、一部講師からのフィードバックを受講者へ提供することで、受講者と講師をつなぎ、継続した学びを応援する取り組みを続けています。

また2024年3月1日、2日に開催されたコンペティション課題曲説明会では、eラーニング登録者全員へのライブ配信を実施。コンペティションの幕開けを、多くの皆様と共有することができました。





## 指導者ライセンス

開催数

48 地区

受検者数

のべ 649 名

※うち初受検：のべ 57 名

全級合格者数

16 名

指導実技・演奏実技・筆記試験・小論文の 4 種類の試験科目を通じて、ピアノ指導者の自己研鑽を応援する検定システムです。ピアノを指導している方やピアノの先生を目指す方なら、どなたでも受検可能です。

2023 年 10 月より、実地でのレッスン見学を再開しました。レッスン見学は、会員指導者の皆さまに講師の普段のレッスンを見学し、指導の実技を研修いただく制度です。講師の先生を中心に、日々のレッスンでの悩みや問題について相談する場や、指導の振り返りとしてもご利用いただけます。レッスン見学は 2023 年度は 203 名の方にご参加いただきました。



## ピアノ教室紹介

2023 年度紹介実績

8,701 件

ピティナ会員の教室とピアノを習いたい生徒の出会いを無料でサポートしています。ユーザーはウェブサイトに掲載された全国のピアノ教室から、求める条件に最もあった教室を探ることができます。10 名の仲介スタッフが、ピアノ学習者と会員を繋ぎます。会員の生徒募集サポートをおこなうことで、ピアノ指導者の直接的な収入増に繋がります。また、ピアノ学習者が質の高いピアノ指導者と繋がることで、一人ひとりが豊かな学びや芸術・文化体験を重ねていけるようサポートしています。

2023 年度はピティナ教室紹介ページ自体への新規流入を増やすために、ウェブサイトの検索エンジン対策だけでなく、Instagram など各種 SNS 広告の活用に着手しました。社会の変化にあわせて、ウェブブラウザだけでなく SNS アプリ等からの流入経路の強化を模索していきます。

利用者  
からの  
コメント

先生を探すという、自分にとって大切な事に対して親身になって対応して下さい、嬉しかったです。



先生に聞きづらいことも質問しやすかったです。仲介スタッフの方と話して、自分がどんな先生を求めているか整理できました。



# ピアノ曲事典



新規音源数

2,487 件

新規人物情報数

277 件

web アクセス数

535 万ページ

YouTube 再生数

2,139 万回

ピアノに携わる方々・音楽を愛好する方々のために、人物や楽曲、関連コンテンツの情報を網羅的に提供するオンラインのデータベースです。ピアノ学習者・指導者・演奏家をはじめ、音楽業界の方々に利用していただき、また、支援を受ける互恵関係を築いてきました。2002年の整備開始から20年を超え、世界有数の規模をもつクラシック音楽の楽曲データベースとなっています。2010年から本格的に整備を始めたYouTubeチャンネルは現在、月間10万人以上が利用し、登録者数は約15万人です。2023年度は昨年に引き続き楽譜情報の整備に注力し、月ごとのピアノ楽譜の新刊の登録・ニュース発信を行いました。また演奏音源や解説文等の主要コンテンツは過去最高のペースで追加しています。



# ピティナ音楽研究所

正式名称「一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 ピティナ音楽研究所（英名：PTNA Research Institute of Music (PRIM)）」は、2022年4月に設立された研究機関で、現在5名の非常勤研究員が所属しています。

2023年度は、文部科学省・日本学術振興会による科学研究費助成事業（科研費）への申請を行い1件が採択されました(採択された研究員の転籍により運用は別機関が行う)。

下半期には協力研究員2名の任期満了に伴い、公募と選考を行いました。その結果、2024年度は菅沼起一氏、松川亜矢氏が所属します。また、研究者が臨時に所属して科研費申請を行うことを想定して「専門研究員」の職位を設定しました。専務理事の福田成康が最初の専門研究員となりました。

2024年3月24日(日)には2023年度の所属研究員による研究報告会を実施しました。



公式 note

# 読み物・連載



新規公開記事

84 記事

ウェブサイトの読み物コーナーはピアノ曲事典(データベース)を使いこなすための基礎知識を提供する目的で、2003年に設置されました。これまでに30を超える連載記事を掲載し、そのうちのいくつかは書籍としても出版されています。また、会員による音楽実践のレポートや活動報告を「トピックス」や「会員・会友コラム」として紹介しています。

2023年度は新連載として『シンフォニア探求』(監修:石井なをみ氏(正会員)、執筆:上田泰史氏(正会員)、橋本彩氏、山中麻鈴氏)、『ピアノのある場所』(手塚貴晴氏(建築家))が開始したほか、「会員・会友コラム」として多田純一氏(研究会員)、井坂康志氏、本荘悠亜氏(指導会員)のコラムを掲載しました。また、100回の連載を数えたSF音楽小説『旅するピアニストとフェルマータの大冒険』(ふるたみゆき氏(研究会員))が、2023年6月に最終回の記事を公開しました。

## コンサート

コンサート登録数

**1,000**公演

※うち関係者のコンサート広報  
支援数：718公演

コンサート事業は、コンペティション・ステップ・ピアノ曲事典等のピティナの事業に関連して開催されるほか、学校・公共ホール・サロン・楽器店・オープンスペースなど公益的な活動も行われています。音楽との出会い、多様な人々の交流を促進します。バラエティ豊かに全国各地で展開されたほか、海外公演への派遣など国際的な支援も行われました。コンサートによる地域協業の取り組みは、アーティスト・地域のコーディネーター・聴衆がともに価値を循環させる場となっています。

## 入賞者記念コンサート

ピティナ・ピアノコンペティションで優秀な成績を収めた演奏者への褒賞として開催されるコンサート。ソロ・デュオ部門、グランミューズ部門、A2級入賞者、全国各地の支部主催の入賞者記念コンサート、また特級入賞者には特級ガラコンサートや特級グランド・コンチェルトなど、多くの入賞者を称える舞台が用意されています。34公演を実施。



## トークコンサート

各地のピティナ・ピアノステップと同日・同会場でステップ参加者の演奏の合間に開催するベテランのアドバイザーによるコンサート。で、入場無料で充実した内容でお届けし地域の方もどなたでも気軽に立ち寄ることができます。235公演を実施。

## 公開録音コンサート

ピティナ・ピアノ曲事典の演奏音源を増やすための収録現場を一般公開する連続コンサートシリーズです。11公演を開催し151曲の新規音源を獲得しました。



## 学校クラスコンサート

小学校の音楽の授業へコンサートを届けます。音楽室の近い距離で生の演奏を体験し、楽器の周りに集まったり演奏者と共演するなど子どもたちの豊かな音楽体験を育みます。のべ37校（児童3730名）にて実施。

## 提携コンサート

音楽祭やホール、オーケストラ等、外部団体と協力しながら推進するコンサート。ラ・フォル・ジュルネ東京丸の内エリアコンサート他、神戸市・大阪市等の自治体や企業団体と連携するなど36公演を実施。





# OPEN PIANO PROJECT

2022年4月に始まった「OPEN PIANO PROJECT」は、ピアノの楽しみ方を広げ、その魅力と可能性を発信するための取り組みです。

2023年度には、神戸市と提携し、ストリートピアノを活用した新しいピアノ教育のアプローチを試みました。街角のストリートピアノを利用して「ピアノを習ったことがない子どもたちへの無料体験レッスン」を実施し、子どもたちにとって小さな冒険、挑戦の機会を提供しました。この取り組みは、神戸市、ピティナ、神戸クラシック協会が官民協働で進めた事例であり、市内在住の26名の小学生が6か所のストリートピアノで4回のレッスンを受講し、最後のミニ発表会で演奏を披露しました。

さらに、「これからの音楽教育を考える会」では、公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンをゲストに招いての子どもたちの「体験格差」についてのディスカッションや、学校クラスコンサート主催者を招いて「地域コミュニティとの関係づくり」に関する議論を行いました。これにより、地域に根付いた音楽教育者として会員のピアノ指導者が活躍できるよう、情報提供や関係性づくりの場を提供しています。

「OPEN PIANO PROJECT」では、自治体、企業、非営利団体など多様なパートナーと連携し、音楽を通じた豊かなコミュニティを各地に形成することを目指しています。ピアノを通じて世の中に新たな価値を届ける企画に共感し、ご参加いただける方は、自薦・他薦を問わず、ぜひご紹介ください。



ひらけ、ピアノ！  
OPEN!  
PIANO  
PROJECT



## 角野隼斗 UPRIGHT PIANO PROJECT

角野隼斗さんとともに全国ツアーを回ったアップライトピアノが、あなたの街へ。次の世代へピアノの音を紡ぐ、静かなピアノプロジェクトを実施しました。

多数の応募の中から、2023年9月～2024年3月にかけて8地区に「かていんピアノ」をお届けし、各地の子どもたちや愛好家の皆様に演奏いただきました。

角野隼斗さんからは「このアップライトピアノが日本全国を回って、僕が日本にいない時でもピアノを通していろんな人と繋がることができるということも、改めて素晴らしいことだなと思っています。実際にピアノに触れた方の声もいただき、自分が伝えたかったコンセプトが、ちゃんと伝わっていることに本当に嬉しい気持ちで一杯です。」とのコメントをいただきました。

2024年1月～3月には再び角野さんと全国ツアーをまわり、また全国へ旅立ちます。2024年度もピアノとの新たな出会いを創出する、当プロジェクトにご期待ください。



これまでのレポート





# Vision

## 音楽がつなげる豊かな人生

「社会」という言葉を用いたビジョンを掲げる団体は数多くありますが、ピティナでは「一人ひとりの人生」に焦点を当てました。生徒一人ひとりの成長と日々向き合っている職業を支えていること、そして音楽は、そもそも社会的なインパクトの前に個人の内省的なインパクトが大きいものであるという考えを表しています。

「社会」は「一人ひとり」の集合体であって、「一人ひとり」が豊かにならなければ、「社会」の豊かさも生まれません。そしてその「豊かさ」は、人と人がつながることで生まれていきます。

音楽がこの「つながり」を生む媒体として非常に優れていることは、ピティナのネットワークが17,000人の会員・650の活動拠点という規模まで発展してきた半世紀以上の歴史に見ることができます。

しかし、この豊かさがまだ届けられていない人もたくさんいます。音楽を通じた「つながり」をさらに多くの人に届け、一人ひとりの豊かな人生、ひいては社会の豊かさの実現を目指して、活動を拡充していきます。

# Mission

## 1. 指導者が共に学び続ける場をつくる

創立当初から引き継がれる「教える人こそ学び続ける」という志のもと、指導者自身の成長を支える事業を推進・開発します。指導者一人ひとりの学びを促進する事業のうえに、地域ごとの指導者の学び合い、生徒と先生の学び合い、地域間での学び合いなど、様々な関係性の中でのつながりが広がる仕組みを構築し、全国に広がっていきます。

## 2. 未来を拓く人をそだてる

ピアノ学習者一人ひとりのピアノに向き合うモチベーションは多様であり、ピアニストを目指し本格的に学ぶ人もいれば、純粋に楽しみとして弾く人もいます。それぞれの能力・個性・興味に応じたピアノとの向き合い方をサポートする事業を、多角的に展開していきます。そして、音楽を通じて磨いた素養をもって、音楽に限らず多様な分野で自らの人生を豊かに切り拓いていく人を育てます。

## 3. 地域コミュニティをつくる

全国の音楽人材が、民間教育・文化芸術の担い手として地域コミュニティに貢献していけるよう、行政・学校・企業等の地域の組織との連携や、地域に入りやすいコンテンツ開発を推進していきます。複雑化する社会課題や孤独・孤立の様相を鑑みると、「地域」という単位の中でのつながりがより一層求められてきます。ピアノ・音楽というコンテンツを通して、地域の人々のつながりを強化します。

## 4. 時代の変化をとりいれる

社会課題の現場や異なる分野・セクターの情報を積極的に音楽教育業界に取り入れ、その時代に求められるピアノ・音楽教育のコンテンツ開発やシステム構築をリードします。個人事業主の多いピアノ指導者個人、あるいは「ピアノ」「音楽教育」という分野だけで豊かな社会を目指すのではなく、他分野・他セクターとの連携をはかり、ピアノ・音楽教育の果たす役割をアップデートしていきます。

# ご支援のお願い

READYFOR × 特級

## 2024年特級クラウドファンディング 応援を力に、 ピアニストの挑戦を共にサポート

ピアノコンクールの最大の魅力は、まさに「応援」にあります。

制限されたプログラム、限られた時間、そして予期せぬ演奏順

—— これらすべての困難を乗り越えて挑むピアニストたち。

彼らの一音一音に心を込め、「うまくいきますように」と祈りながら応援する瞬間には、特別な感動があります。

過去のクラウドファンディングを通じて、多くの音楽公演が実現しました。

また、皆さまのサポートにより、海外のコンクールに挑戦できたピアニストもいます。

一人一人の挑戦を支えることで、まだ見ぬ新しい音楽や景色が広がります。

あなたの応援がなければ実現しなかったコンサートや、

子どもたちの音楽との出会い、新しい音楽表現が確かに存在するのです。

多くの方に愛され、背中を押されたピアニストの音楽は、

きっと誰かの背中を押す力を持っています。

あなたの支援があってこそ、生まれた音楽があります。

特級の歴史を絶やさず、皆さまの応援を形にしてピアニストに届けるために、

今年もクラウドファンディングに挑戦します。

2024年度もご支援・ご声援をどうぞよろしくお願いいたします。



詳細はこちら

第一目標金額

180 万円

若いピアニストをサポート  
オンラインの聴衆賞を実現します

第二目標金額

380 万円

全国各地での交流をサポート  
ピアニストをあなたの街へ。

第三目標金額

600 万円

聴衆をサポート  
特級コンチェルトを実現

※資金の使途として、クラウドファンディング手数料を含みます

※目標金額を超えてご支援いただいた場合は、本年を含めこれまで特級で優秀な成績を取った入賞者たちの活動サポートに活用させていただきます。

実施期間: 7.4 (木) ~ 8月下旬

# 各事業への寄付受付

特級クラウドファンディング以外にも、ピティナの各事業へのご支援を恒常的に受け付けております。寄付したい事業を指定してご支援いただくことも、ピティナの活動全体へご寄付いただくことも可能です。

OPEN PIANO PROJECT やピティナ音楽研究所をはじめ、これから様々な「公益」の領域の事業を展開するにあたり、皆様からのご寄付が大きな支えになります。

引き続き、音楽教育の発展と文化芸術振興にご協力いただけますと幸いです。

## クレジットカード決済

右のQRコードから必要事項を入力し、決済情報をご入力ください。



## 銀行振込

- ① 右のQRコードから寄付者情報・寄付金額等の情報をご申告ください。
- ② 以下の口座に①で申告した金額をお振り込みください。



振込先	三井住友銀行 巣鴨支店 普通 0634941 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会
留意事項	振込人名義の冒頭に、アルファベットで「CG」をつけてお振り込みください。

## 郵便振替

郵便局にある払込取扱票でご寄付いただけます。右記の必要事項を記入の上、お振込ください。



口座番号	00140-4-96845
加入者名	ピティナ催物口
金額	寄付金額をご自由に設定してください。
通信欄	①「ピティナ寄付」と明記してください。 ② 支援する事業名をご記入ください。事業の記載がない場合は、事業指定のない寄付としてお預かりさせていただきます。 ③ 領収書発行をご希望の場合は、「領収書発行希望」とご記入ください。 ④ ご芳名のウェブサイト等での公表を希望しない場合は、「匿名希望」とご記入ください。
ご依頼人	寄付者のお名前・ご住所・ご連絡先を明記してください。

## お宝エイド お宝エイド

ご自宅の不用品を換金して寄付する仕組み「お宝エイド」と提携しています。使わなくなった楽器・バッグや時計等のブランド品・はがきや切手などを、指定の住所に不用品を送付するだけでピティナへのご寄付になります。ご自宅のお付けのついでに、手軽にご支援いただける方法です。

寄付できる品物や手続きの詳細は、右下のQRコードからウェブサイトをご参照ください。

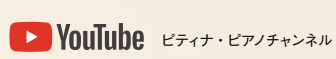


## 遺贈寄付

遺贈寄付とは、故人の財産からNPOなどの活動団体に寄付をすることです。一般的には、財産の寄付を希望する方が生前のうちに遺贈寄付の意志を遺言に記す方法で、ご逝去後に寄付が実行されます。ピティナでは2020年より、専門家のサポートのもと、遺贈寄付の受入体制を整備しております。ご自身の人生で築かれた財産の一部を、音楽教育の発展や文化振興に寄与する形で残したいとお考えの方は、お気軽にご相談ください。







一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)  
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-15-1 3F Tel.03-3944-1583

最新情報は  🔍